

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
2022年度(令和4年度)事業計画

自:2022年4月1日
至:2023年3月31日

1. 第12回定時社員総会

期日:2022年5月26日(木)

会場:NATULUCK 神田北口駅前店 3階会議室にてオンライン会議を併用して開催する。

議事

- (1) 2021年度(令和3年度)事業報告並びに決算報告、剰余金処分の件、会計監査報告の承認に関する件
- (2) 2022年度(令和3年度)事業計画並びに予算案の承認に関する件
- (3) 法人7期役員選出の件
- (4) 2021年度学会各賞選考結果報告
- (5) 事業報告会・特別講演会
「教育委員会の活動紹介」
東京都立産業技術高等専門学校 准教授 川崎憲広氏
「初期のソーラーハウス(米国、豪国他)と有効熱容量の研究」 東京都立大学 名誉教授 須永修通氏
「ソーラーカーとソーラー無人飛行機の開発最前線」
東海大学 教授 木村英樹氏

2. 理事会

6回/年 開催し、遅滞なく業務を執行する。

3. 各種委員会

3.1 事業委員会 (委員長:木村英樹)

- (1) ソーラーカー製作講習会は東日本地区で開催を企画する。

3.2 広報委員会 (委員長:加藤和彦)

- (1) 「第17回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」(2023年2月1日~3日)アカデミックコーナーに本会ブースを設け本会の活動内容をPRする。
- (2) ホームページの会員向けサービスの充実ならびに非会員向けに学会活動のPRを図る。
- (3) ウェブメディア「みんなの試作広場」に太陽エネルギー利用の基礎知識の第9回と第10回の掲載。

3.3 学会誌編集委員会 (委員長:秋澤 淳)

- (1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society」をVol. 48, No. 3(通巻269号)~Vol. 49, No. 2(通巻274号)までの6回発行する。各号特集記事の充実を図る。
- (2) 太陽エネルギー利用に関連する教育講座や国際会議報告、研究室紹介等を掲載し、幅広い会員に親しめる学会誌編集を行う。
- (3) 論文投稿を促進するため、特集記事と関連した論

文の投稿を検討する。

3.4 国際交流委員会 (委員長:山田 昇)

ISES, KSES, 中国再生可能エネルギー学会(CRES)等との相互交流の具体策(Web 会議システムによるVirtual な交流の可能性など)を検討する。

3.5 研究発表会運営委員会 (委員長:若尾真治)

- (1) 2022年度JSES研究発表会を「福井県国際交流会館」(予定)において2022年11月10日(木)~11日(金)に開催する。
- (2) Covid-19の感染状況にもよるが、見学会・懇親会の開催も予定する。

3.6 学会活性化委員会 (委員長:植田 謙)

若手研究者とベテラン研究者との有益なディスカッションを期待してJSES・若手研究発表会を8月12日にオンライン開催を予定する。優れた発表には「若手研究発表会奨励賞」を贈呈する。

3.7 学会規程委員会 (委員長:松尾廣伸)

各種規程の整備、見直し、改定を推進する。

3.8 表彰委員会 (委員長:秋澤 淳)

- (1) 「論文賞」(太和田賞, 押田賞を含む)、「奨励賞」, 「功労賞」, 「学会賞(学術部門)」, 「学会賞(技術部門)」, 「学会貢献賞」「若手研究発表会奨励賞」の受賞者を選考し、研究開発ならびにその実用化促進に関する優れた業績を顕彰する。なお、「奨励賞」については研究発表会において予備審査を行う。
- (2) フェロー認定は年1回の総会に合わせて5月の理事会で審査・認定する。

3.9 教育委員会 (委員長:大竹秀明)

4月に「入門編I:太陽と地球と太陽エネルギー」をHPに掲載する。また続編の掲載準備を行う。

4. 各種部会

会員相互交流の他、新規会員の拡充を図るため、各部会において勉強会、セミナー、講演会等を企画運営する。

4.1 太陽熱部会 (部会長:盧 炫佑)

- (1) 太陽熱利用のリバイバル(PVT)セミナーの企画
- (2) 「第17回再生可能エネルギー世界展示会」(2023年2月1日~3日)への企画運営への協力。
- (3) 「エコプロ2022」出展(2022年12月7日~9日/東京ビッグサイト)
- (4) 太陽熱利用技術に関する教材やウェブコンテンツ

の制作

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

- (1) 第33回セミナー「太陽光発電と地域共生」
4月19日 オンライン開催
- (2) 第34回セミナー「再生可能エネルギー分野で活躍する女性達」(8月頃にオンライン開催を予定)
- (3) 第35回セミナー「PV全般に関するAI分析」秋～冬頃の開催を予定する。
- (4) 学会誌特集記事として「FIT制度開始からの10年を振り返り、今後を展望する」を100%RE部会と共同で企画する。

4.3 光化学・バイオマス部会

- (1) シンポジウム「光合成と人工光合成から考える脱炭素化社会」 9月頃の開催を予定する。
- (2) シンポジウム「バイオインフォマティクスの基礎から考える農業分野への展開」
11月頃の開催を予定する。
- (3) シンポジウム「マテリアルズインフォマティクスと光化学」 1月頃の開催を予定する。
- (4) シンポジウム「ELSIの視点で考える太陽エネルギー利用技術の今後の展開」3月頃の開催を予定する。

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

- (1) ソーラー建築に特化したガイドブック作成と講座立ち上げを企画する。
- (2) ソーラー建築見学会はCovid-19の収束を待って企画する。

4.5 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

- (1) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションの企画(2022年11月10日～11日)
- (2) モーニングセミナー：米国の再生可能エネルギー関連の研究所とオンラインで接続し、現地の研究員

との交流を図る(9月、3月頃を予定)。

- (3) 講演会：再生可能エネルギー導入・地域の脱炭素化に関する政策、将来シナリオをテーマにした講演会を実施(2022年10月～11月頃)。
- (4) 再生可能エネルギー利用を実装した案件の見学会をCovid-19の収束を待って企画する。
- (5) 100%再生可能エネルギー化に関する勉強会(年3回程度の開催)を企画する。
- (6) 学会誌特集記事として「FIT制度開始からの10年を振り返り、今後を展望する」をPV部会と共同で企画する。

5. 関西支部の行事（支部長：原田真宏）

見学会、シンポジウム等を開催し関西地区会員の啓発活動を行う。

- (1) 見学会(2022年9月実施予定)
- (2) シンポジウム(2022年11月開催予定)
- (3) 第3回～4回研究室探訪(2022年10月、2023年3月実施予定)
- (4) 幹事会3回/年を実施する。

6. 会員増加と財務基盤強化

事業委員会ならびに各種委員会・各種部会を通じ個人会員、団体会員の増加を図る他、講演会やセミナー等の事業を強化する。また、論文投稿の促進策を検討・実施することにより個人会員、学生会員の増加を図る。

また学会誌の誌面充実による新規購読者の獲得、学会誌広告掲載を増強して経営の安定化ならびに財務基盤の強化を図る。

2022年度一般会計収支予算

自:2022年4月1日

至:2023年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	2021年度 実績(A)	予 算 (B)	B/A (%)	備 考
前年度繰越金	6,349,776	6,349,776		
会費				
団体	4,925,000	4,900,000	99.5%	退会2社, 新規加入2社
個人	5,958,800	5,880,000	98.7%	12,000*475人+12,000*30人*1/2年
シニア	158,400	182,400	115.2%	24人+終身会員38,400
学校	10,000	10,000	100.0%	1校
学生	360,000	534,000	148.3%	6,000*29人+6,000*60人
入会金	30,000	90,000	300.0%	30名分
(小計)	11,442,200	11,596,400	101.3%	
学会誌				
購読料	412,292	412,000	99.9%	定期購読・バラ売り・新規
広告掲載料	633,200	540,000	85.3%	
論文掲載料	807,000	945,000	117.1%	20件目標
(小計)	1,852,492	1,897,000	102.4%	
研究発表会				
登録費	928,000	1,250,000	134.7%	目標登録者数:一般130名+学生70名
見学会・懇親会	0	300,000		懇親会,見学会,論文抜き刷り
論文集・展示・広告	90,134	90,000	99.9%	
助成金	0	200,000		
(小計)	1,018,134	1,840,000	180.7%	
各種事業・部会等				
部会セミナー・講演会	643,000	510,000	79.3%	セミナー6回(熱1,PV3,100%RE2)
関西支部	10,004	110,000		見学会, シンポジウム
ソーラーカー講習会	707,300	707,000	100.0%	
その他出版物	30,529	20,000		論文別刷り等
(小計)	1,390,833	1,347,000	96.8%	
雑収入				
著作権料・利息等	7,898	10,000	126.6%	
総会懇親会他	0	0		
積立金(表彰)繰入	0	200,000		太和田賞
雑収入	2,865,260	0		
(小計)	2,873,158	210,000	7.3%	
当年度収入計	18,576,817	16,890,400	90.9%	
合 計	24,926,593	23,240,176	93.2%	

支出の部

(単位:円)

科 目	2021年度 実績(A)	予 算 (B)	B/A (%)	備 考
委員会費				
理事会・委員会	51,659	50,000	96.8%	
総会・懇親会	94,490	170,000	179.9%	総会案内開催はがき, 選挙封書, 総会会場料
表彰費	122,451	300,000	245.0%	論文賞, フェロー認定証, 奨励賞, 太和田賞
(小計)	268,600	520,000	193.6%	
学会誌				
製作費	3,373,920	3,420,000	101.4%	J-Stage 登録費含 95p800部¥570,000×6
原稿料	384,000	400,000	104.2%	200頁分
校閲料	0	0		
郵送料・封筒	593,270	590,000	99.4%	
(小計)	4,351,190	4,410,000	101.4%	
会費・協賛金	123,500	123,500	100.0%	ソ振協120,000-
研究発表会				
印刷費	145,586	5,000	3.4%	論文集CDROMは製作しない. 必要分を自作.
見学会・懇親会	0	200,000		見学会50,000-・懇親会150,000-
開催費	28,370	700,000	2467.4%	会場使用料・通信費・事務局旅費等
(小計)	173,956	905,000	520.2%	
各種事業・部会等				
部会セミナー・講演会	120,916	170,000	140.6%	熱50k,PV60k, 100RE50k, 建築10k
関西支部	30,660	240,000	782.8%	
ソーラーカー講習会	280,740	280,000	99.7%	テキスト印刷・郵送費
その他	0	2,400,000		ソーラー建築部会出版費用
(小計)	432,316	3,090,000	714.8%	
維持経費				
通信・郵送・振込料	326,105	330,000	101.2%	郵便料,電話料,振り込み料
ホームページ維持費	163,497	165,000	100.9%	
借室料	1,560,000	1,561,722	100.1%	130,000-/月 更新料:1,722
光熱費	88,955	90,000	101.2%	電気・水道料
リース料	668,742	670,000	100.2%	複写機・サーバーリース代・web会議
保険料	63,290	63,290	100.0%	業務災害補償保険のみ
消耗品・複写料	121,783	150,000	123.2%	
雑費	50,424	60,000	119.0%	文具・消耗品・OA機材
表彰資金積立	0			
貸倒損失	18,000	0		
(小計)	3,060,796	3,090,012	101.0%	
人件費				
職員給与	6,116,878	6,200,000	101.4%	給与
福利厚生費	62,000	100,000	161.3%	法定福利費
通勤交通費	240,854	250,000	103.8%	
アルバイト費	0	0		
(小計)	6,419,732	6,550,000	102.0%	
法人税等	70,000	70,000	100.0%	
税理事務所報酬	528,000	528,000	100.0%	
(小計)	598,000	598,000	100.0%	
当年度支出計	15,428,090	19,286,512	125.0%	
次年度繰越金		3,953,664		
合 計		23,240,176		

財産増減額

▲ 2,396,112 ソーラー建築部会の出版費用2,400千円を除いて4千円の黒字

2022年度特別会計収支予算案

自:2022年4月 1日

至:2023年3月31日

1. 出版事業

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	0	
書籍売上	150,000	改訂新版ハンドブック等
合計	150,000	

支出の部

科 目	予 算	備 考
販売経費	10,000	販促パンフ・送料等
期首棚卸し資産	433,500	
期末棚卸し資産	229,500	
合計	214,000	
次年度繰越金	▲ 64,000	

日本太陽エネルギー学会・関西支部

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)予算案

収入の部

項目	2022年度予算
前年度繰越金 †	533,826
交付金	0
見学会参加費	10,000
シンポジウム参加費	100,000
研究室探訪	0
その他	0
収入合計	643,826

支出の部

項目	2022年度予算
幹事会・研究会(3回分)	150,000
見学会経費	0
シンポジウム経費	50,000
研究室探訪(2回分)	40,000
その他	0
本部差し戻し(ただし関西支部預り金)	403,826
支出合計	643,826

収支決算

項目	2022年度予算
前年度繰越金 †	533,826
交付金	0
幹事会・研究会(対面で行う1回分)	-150,000
見学会(参加費－経費)	10,000
シンポジウム(参加費－経費)	50,000
研究室探訪	-40,000
その他	0
本部差し戻し(ただし関西支部預り金)	-403,826
収支合計	0

† 関西支部預り金として前年度に本部会計に返納した繰越金について本部会計より再交付を受ける。